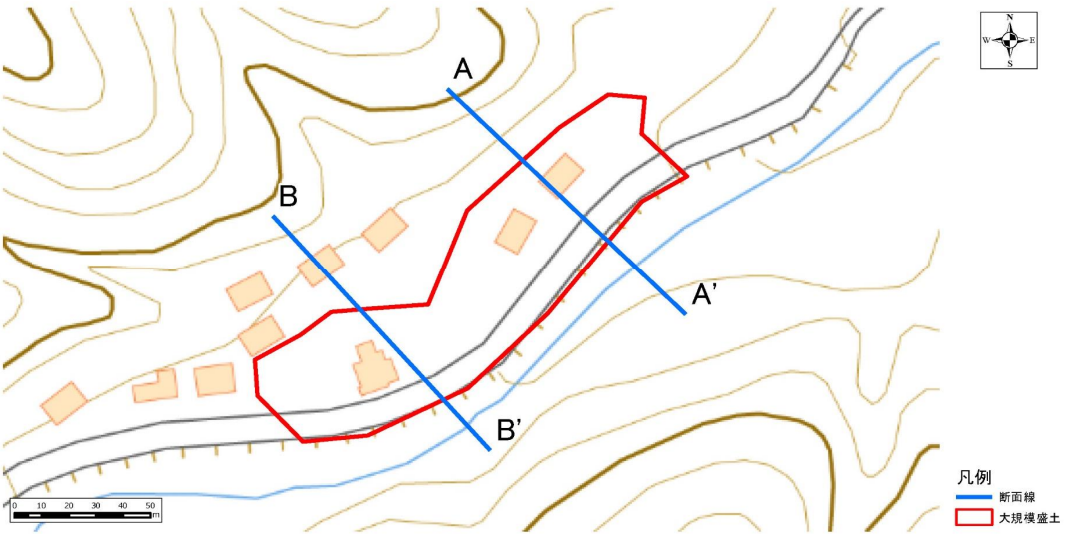
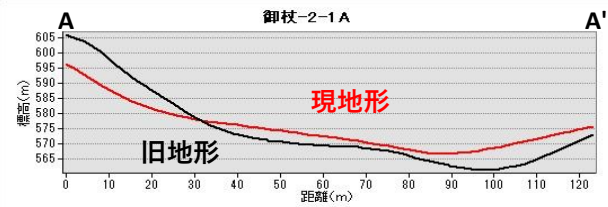
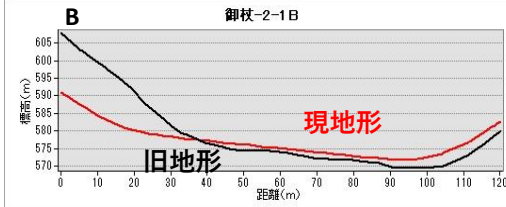


大規模盛土造成地 宅地カルテ（概要・総評）

宅地概要（第一次スクリーニング結果）						
盛土番号	御杖-2-1	宅地名	神末		造成（許可）年代	S51～H11
所在地住所	御杖村神末					
盛土形式	☒ 人工造成地 ☐ 谷埋め型 ☐ 腹付け型 ☐ 自然斜面					
盛土形状	盛土面積A	7532 m ²	盛土幅W	182 m	盛土距離d	41 m
	盛土高さH	8 m	盛土厚さD	m	元地盛勾配α	11°
宅地概要（第二次スクリーニング計画の作成）						
優先度評価項目		判定		記事		
①	盛土および擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当	☐ 非該当 ☒ 該当				
②	宅地地盤・擁壁・のり面の変状	☐ 有 ☒ 無				
③	地下水	☐ 有 ☒ 可能性有				
④	盛土の下の不安定な土層	☐ 有 ☐ 無 ☒ 不明				
⑤	造成年代（基準年以前／以後）	☐ 以前 ☒ 以後				
⑥	変動確率	☒ 大 ☐ 小				
【総評】	標準的な形状・構造の谷埋め型盛土である。盛土末端部は道路に面した擁壁（ブロック積）を主体とし、道路を挟んで河川護岸に連続する。道路擁壁や護岸擁壁には顕著な変状の発生はなく、構造物は概ね健全である。道路面には亀甲状のひび割れが広範囲に発生しているが、舗装の経年劣化によるものと考えられる。盛土内はキャンプ場として土地利用され、敷地内はひな壇状の平坦地となっている。敷地内の盛土のり面に一部表層土砂の流出跡が見られるが、変状は小規模で局所的である。また、敷地内の道路面に発生したクラックも局所的であり、盛土の不安定化によるものとは考えられない。造成年代は基準年以降である。以上より、当該箇所の優先度は「B4」と評価した。 想定被害形態は、盛土末端部が擁壁構造を主体としていることから「擁壁の不安定化による擁壁倒壊・背面土の崩壊」が想定される。			想定被害形態		
				優先度		
				B4		
宅地概要（第二次スクリーニング）						
【地盤定数】						
	代表N値	単位体積重量 (kN/m ³)	粘着力 (kN/m ²)	内部摩擦角 (°)	せん断波速度 (m/s)	
盛土						
地山						
【安定計算結果】						

【位置図】	
	
凡例 — 断面線 — 大規模盛土	
【断面図】	
御杖-2-1 A 	
御杖-2-1 B 	
変動予測調査後	
【工事の記録】	
【点検の記録】	

宅地カルテ（第一次スクリーニング結果）

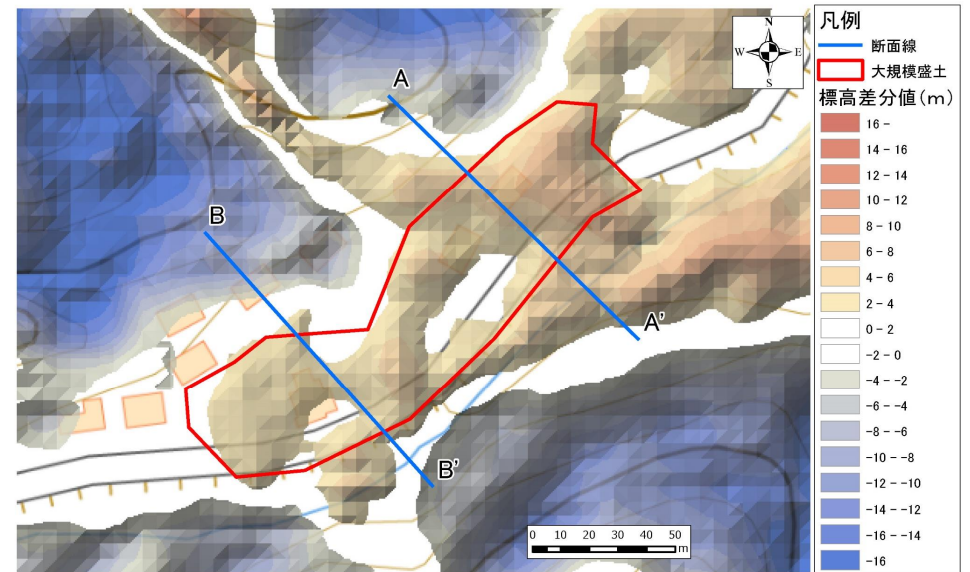
様式2

盛土番号	御杖-2-1	宅地名	神末	造成年代	S51~H11	盛土形状	盛土面積A	7532	m ²	盛土幅W	182	m	盛土距離d	41	m	天端幅（腹付け型）L	m
所在地住所	御杖村神末						盛土高さH	8	m	盛土厚さD		m	原地盤勾配α	11	°		
盛土形式	☒ 人工造成地 (☒ 谷埋め型 ☐ 腹付け型) ☐ 自然斜面					特記事項 ()											

【背景（昭和49年～昭和53年度航空写真）】



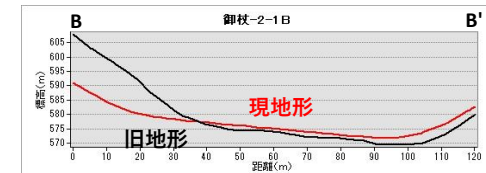
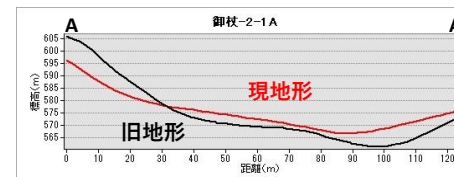
【差分図（背景現地形図）】



【空中写真】



【模式断面図】



宅地カルテ（第二次スクリーニング計画の作成（1））

様式3

基礎資料整理				現地踏査									
チェック項目		判定	記事	調査日時		天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	
保全対象	・住宅	☐ 有 ☒ 無	() 軒 ()	2022年10月5日		15:00	降水量 (mm)	8.5	0	0	0	0	
	・住宅公共施設等	☐ 有 ☒ 無	☐ 避難所 () ☐ 緊急輸送路 () ☐ 河川 () ☐ 鉄道 ()	・宅地内の平面図との相違			☐ 有 ☒ 無 ()						
	・その他特記事項	—	みつえ青少年旅行村	・盛土形状の机上調査との相違			☐ 有 ☒ 無 ()						
				・盛土末端部の状況			— ☐ のり面 ☒ 擁壁 ☐ すりつき ()						
各種指定等	・各種指定の有無	☒ 有 ☐ 無	☐ 宅地造成工事規制区域 ☐ 災害危険区域 ☐ 人口集中地区D1D ☒ 土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☒ 砂防指定地 ☐ 地すべり防止区域	土質 ・原地盛土材料の確認 ・盛土材料の確認 ・既往調査の資料 ・その他特記事項			☐ 有 ☒ 無 ☐ 礫質土 ☐ 砂質土 ☐ 粘性土 ☐ 岩盤 ☐ 有 ☒ 無 ☐ 礫質土 ☐ 砂質土 ☐ 粘性土 () ☐ 有 ☒ 無 () — ()						
	・その他特記事項	—		優先度評価項目			判定 (記事)						
	その他				①	・盛土のり面勾配	☐ 急 ☐ 適 勾配 (1:) (のり面構造ではない)						
					の盛土形状および擁壁構造	・小段の設置	☐ 不適 ☐ 適 高さ () m 段数 () 段 ()						
・のり面保護工の設置						☐ 不適 ☐ 適 ()							
・ひな壇部分の傾斜						☐ 急 ☒ 適 傾斜角 (4) ° ()							
					・擁壁構造の適格性	☐ 不適 ☒ 適 ☐ 鉄筋コンクリート構造 ☐ 無筋コンクリート造 ☐ 練積造 ☐ その他 () 高さ (3~5) m 壁面勾配 (1: 0.4)							
					・その他特記事項	— ()							
優先度評価項目				判定 (記事)									
⑤	基準年代 (S43)	☐ 前 ☒ 後	造成年代 (S51~H11)										
⑥	変動確率	■ 大 ☐ 小 点数方式 (方式1) % 数量方式 (方式2) 54 % 数量化Ⅱ類 60 % その他 ()			②								
・その他特記事項				宅地地盤・亀裂、沈下、隆起									
				擁壁とその基礎の変状									
				擁壁背面の変状									
				擁壁の補修履歴									
				・ガリ侵食跡									
				・表面の不陸又は凹凸									
				・亀裂									
				・排水溝の変状									
				・災害痕跡									
				・根曲り									
				・道路の変状									
				・その他特記事項									
				③									
				盛土のり面からの湧水									
				擁壁水抜き穴からの恒常的な出水									
				ひな壇部分の擁壁前面部の出水									
				排水工や擁壁の恒常的な湿り									
				盛土のり尻排水工の水没									
				排水工の目地・亀裂からの地下浸水									
				盛土のり尻のため池等の満水位									
				既存井戸水位									
				盛土のり尻の調整池・ため池									
				集水地形上の盛土									
				盛土上ガレージの湿り									
				水を好む植生の有無									
				・その他特記事項									
				④									
				盛土周辺の崖錐、崩積土									
				盛土周辺の沖積粘性土									
				盛土周辺の沖積飽和砂質土									
				・その他特記事項									
				【総評】									
				標準的な形状・構造の谷埋め型盛土である。盛土末端部は道路に面した擁壁（ブロック積）を主体とし、道路を挟んで河川護岸に連続する。道路擁壁や護岸擁壁には顕著な変状の発生はなく、構造物は概ね健全である。道路面には亀甲状のひび割れが広範囲に発生しているが、舗装の経年劣化によるものと考えられる。盛土内はキャンプ場として土地利用され、敷地内はひな壇状の平坦地となっている。敷地内の盛土のり面に一部表層土砂の流出跡が見られるが、変状は小規模で局所的である。また、敷地内の道路面に発生したクラックも局所的であり、盛土の不安定化によるものとは考えられない。造成年代は基準年以降である。以上より、当該箇所の優先度は「B4」と評価した。									
				被害形態									
				擁壁の不安定化による擁壁倒壊・背面土の崩壊									
				優先度									
				B4									

【平面図】

凡例
大規模盛土造成地

0 10 20 40 60 m



写真1 砂防指定地看板



写真2 南側境界付近の状況



写真3 南側境界付近の状況



写真4 南西側境界付近の状況



写真5 南西側境界付近の状況



写真6 南西部土地利用状況



写真7 中央部境界付近の状況



写真8 中央部境界付近の状況



写真9 中央部水路の状況



写真10 中央部境界付近の状況

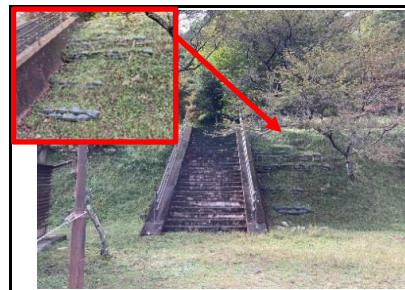


写真11 土砂流出跡



写真12 北側境界付近の状況



写真13 北側境界付近の状況



写真14 北東部土地利用状況



写真15 路面のクラック



写真16 北東側境界付近の状況



写真17 北東側境界付近の状況



写真18 擁壁天端の状況



写真19 擁壁の状況



写真20 南東側の河川の状況



写真21 路面の亀裂



写真22 擁壁の状況



写真23 路面の亀裂



写真24 南側境界付近の状況

